

父親と子どもの料理教室&母親応援講座事業【福岡県岡垣町】

地域の実情と課題

※実情※

女性が働くことに対する意識について、岡垣町では「子どもが小さい間の育児は母親が家庭で行う方がよい」と考えている人が男女ともに多い（H26.1実施：岡垣町住民意識調査）。

※課題※

国の調査（H24.10実施）では、「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」という回答が最も多く、岡垣町では性別役割分担意識が強く、女性の社会参画や就労継続が課題。

事業の特徴

※特徴※

- 父子の料理講座に母親を合流させることにより、講座の目的を家族で共有することができる。
- 母親講座は、近隣町（芦屋町、水巻町、遠賀町）の住民も対象とし、広域的に事業を実施。
- 事業効果のフィードバックを近隣町に行い、今後広域的な事業実施の検討や当該補助金を活用した事業の情報交換を行う。

事業の効果

※効果※

- 事後アンケートにおいて意識が変わったと回答した人が50%となり、目標を達成。
- 家庭内での家事分担について、夫婦で話し合うようになったなど、意識の変化がみられたところがあった。
- 母親講座では、ゲームを通じてお金の流れを学ぶ講座であったため、理解しやすい内容であった。
女性自身の社会進出や就労継続の意欲向上に寄与できた。

目的・目標

※目的※

父親や子どもが生活技術を身につけ、日常的に家事分担ができるようになると母親（女性）の社会進出や就労継続に繋がる。
また、母親（女性）が、お金の流れ（金融や投資など）について学ぶことで、自身の社会進出や就労継続の意欲向上を支援する。

※目標※

- ・事後アンケートにおいて意識が変わったと回答した人 50%
<結果> 意識が変わったと回答した人 50%

連携団体

※名称※

岡垣町女性活躍推進講座実行委員会
【連携団体】

- ・岡垣町食生活改善推進会
(連携内容) 企画内容の検討、
講座当日の調理指導及びアシスタント
- ・NPO法人こども未来おかがき
(連携内容) 学童保育所利用者に対する事業周知

今後の課題

※事業の継続性※

単発の事業では、参加者の意識付けがどの程度定着するか不明。そのため、連続講座や複数回事後調査を行うなど、継続性がある事業の実施に努める。

※周知手法※

当初の見込みより参加人数が少なかったため、事業の周知について手法を検討する。

事業の概要

※父親と子どもの料理教室※

- メニューは、「休日の昼食」を想定し、
 - ①材料は簡単に調達できるもの
 - ②作業工程が容易なもの で構成。
- 【メニュー】
 - ・炊飯器でチキンライス！巻かない簡単オムライス
 - ・きゅうりとササミのバンバンジー風サラダ
 - ・鶏ササミとワカメのすまし汁
- 父親と子どもが料理している間、母親は別室で講座を受講。
- 食事や片付けは家族一緒に行うことで、講座の目的を家族で共有することができる。

▼ 調理中の様子



▼ 講師によるデモンストレーション



▼ 出来上がり



※母親応援講座※

- 会計、金融、投資について学ぶことができる講座として「キャッシュフローゲーム」を企画。
- 「キャッシュフローゲーム」は、
 - ・お金の流れを見る
 - ・お金の流れを理解する
 - ・お金の流れをコントロールするこの3ステップをゲームを通して学習。
- この講座では、女性の社会進出や就労継続の意欲向上を目的としている。

▼ 講座の様子①



▼ 講座の様子②



岡垣町イメージキャラクター

♥ ひわりん & ひわすけ ★